

法学部創立120周年記念シンポジウムを開催

～ 司法制度改革と法曹の新たな役割像を考える～

日時:11月18日(土)午後1時30分～ 場所:関西大学 千里山キャンパス BIGホール100ほか

関西大学法学部と法科大学院では、法学部創立120周年を記念して11月18日(土)に千里山キャンパスで「司法制度改革と法曹の新たな役割像」を総合テーマとするシンポジウムを開催します。

当日は、第1部として、元最高裁判所判事の滝井繁男氏を講師に迎え、「裁判所から見た司法制度改革」をテーマに基調講演を行います。

第2部では、「動き出した法テラスーその課題を探るー」をテーマに、日本司法支援センター事務局次長の大場亮太郎氏や大阪弁護士会会長の小寺一矢氏などによるパネル・ディスカッションを行います。

関西大学は、1886(明治19)年に関西法律学校として大阪西区京町堀の願宗寺で開校しました。学理と実際の調和を説いた「学の実化」という教育理念のもと、常に社会・市民との共生を視野に入れ、教育研究の充実と有為な人材の育成に努めてきました。

関西大学法学部および法科大学院では、今回のシンポジウムを、わが国の司法制度改革と法曹の新たな役割像について市民のみならずともに考える機会とし、これからの法曹界を担う人材を輩出する大学としての使命を、改めて見つめ直したいと考えています。

なお、12月2日(土)には、同じく法学部創立120周年を記念して、関西大学法学部と法学研究所の共催で、千里山キャンパスの尚文館マルチメディアAV大教室において、「21世紀の東アジアと日本」を総合テーマにコロキウムを開催する予定です。

【この件に関するお問合せ先】

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

創立120周年記念シンポジウム 実施概要

- (1) 日 時 : 11月18日(土) 午後1時30分~午後5時
- (2) 場 所 : 関西大学千里山キャンパス 第2学舎4号館「BIGホール100」
吹田市山手町3-3-35(阪急千里線「関大前駅」北出口から徒歩約7分)
- (3) 内 容 : 開会の辞 法学部長 市原 靖久
挨拶 理事長 森本靖一郎
学 長 河田 悌一
- 第1部 基調講演「裁判所から見た司法制度改革」
講師: 滝井 繁男氏(元最高裁判所判事)
- 第2部 パネル・ディスカッション
「動き出した法テラスーその課題を探るー」
パネリスト
大場亮太郎氏(日本司法支援センター事務局次長)
佐伯 照道氏(弁護士、日本司法支援センター大阪事務所長)
小寺 一矢氏(弁護士、大阪弁護士会会長)
佐柄木俊郎氏(国際基督教大学客員教授、元朝日新聞論説主幹)
久保井一匡氏(弁護士、元日弁連会長)
- 閉会の辞 大学院法務研究科長 山中 敬一

創立120周年記念コロキウム 実施概要

- (1) 日 時 : 12月2日(土) 午後1時30分~午後5時
- (2) 場 所 : 関西大学千里山キャンパス 尚文館「マルチメディアAV大教室」
吹田市山手町3-3-35(阪急千里線「関大前駅」北出口から徒歩約7分)
- (3) 内 容 : 開会の辞 法学部長 市原 靖久
法学研究所長 孝忠 延夫
- 趣旨説明 コロキウム実行委員長 若田 恭二
- 報 告 「移行期の東北アジア - 新旧の緊張と将来の地域秩序」
文 正仁氏(延世大学教授)
「東アジアにおける共同の歴史像の創造」
歩 平氏(中国社会科学院近代歴史研究所長)
「沖縄からみた東アジア」
我部 政明氏(琉球大学教授)
- 討 論 豊下 檀彦氏(関西学院大学教授)
孝忠 延夫(関西大学法学部教授・法学研究所長)
- 全体討論